



国公共済会

(日本国家公務員労働組合連合会共済会)

たすけあい ささえあい

そして → お得に



「共済」とは

- 力を合わせて助け合うこと。 「一組合」。
- 独りではなんともし難い事態に対し 仲間同士で支え合えるよう 日頃から備えておく。
- ある意味で 労働組合の基本

それは パブ (public house) から始まった



18世紀

産業革命時代のイギリスのパブで

病気やけがで働けない仕事仲間
仕事を失い生活に困った仲間
のため

僅かずつだがお金を集め
あるいは積み立て
助け合った活動 → 運動

「お互い様」 の精神



国公共済会の制度（ほんの一例）

生命基本共済

1口月額30円 10～200口で選択
病気などでの死亡 1口で10万円
不慮の事故で死亡 1口で20万円 など

医療共済

1口月額100円 4～20口で選択
入院 1日目から給付 1口で日額500円
休業加療 10日以上なら1日目から給付 1口で日額250円 など

交通災害共済

1口月額100円 1～5口で選択
交通事故による死亡 1口で200万円
交通事故による入院 1口で日額3000円
交通事故による通院 1口で日額1500円 など

火災共済（火災・家財）

木造だと1口年額60円 耐火構造だと1口年額30円
建物：木造だと1坪あたり7口まで 耐火構造だと1坪あたり8口まで
家財：1人100口 2人130口 3人160口 4人以上200口 まで
1口で最高10万円 水漏れや風水害などにも適用 など





国公共済会の制度（ほんの一例）

家財50口+建物(借家人賠償責任共済)50口加入の場合



23歳 男性

民間賃貸マンション

24㎡鉄筋

月掛金250円

**過失で火事を起こし部屋を全焼、
隣接する部屋にも被害を与えた場合に給付**

- ①家財500万円+臨時費用75万円
- ②家主から損害賠償請求があった場合
最高500万円（借家人賠償責任共済）
- ③他の部屋の住人の損害に対し1事故当たり
最高100万円（1世帯40万円を限度）

《その他の給付ケース》

- 水漏れを起こし、階下の住人に損害を与えた
- 落雷でパソコン、テレビが故障した など

※「個人賠償責任補償制度（年1度、9月募集）」は別途加入が必要です。

「小さな掛金」「大きな保障」 なぜ実現できる？

■「原価の原則」

儲けを目的としない原価主義

共済会 事業費 18% 活動費等 12% 純掛費 70%

民間保険 事業費 33% 代理店手数料 26%

儲け 5% 純掛費 36%

■広告をなるべく避け組合員同士の支え合いの精神で運営

→ 支払った掛け金は
確実に仲間の為に使われている